

五島の未来を切り開く新産地育成に向けて ～青果用かんしょとほめられかぼちゃの取組～

お問合せ先

農業振興普及課
0959-72-5115

【青果用かんしょ】

五島地域では、令和2年度から離島振興地方創生協会等の関係者と連携して青果用かんしょの産地育成に取り組んでいます。

現在、安納芋や有機栽培にも取り組む「JAごとう契約甘諸部会」と、冷凍焼き芋用の出荷に取り組む「五島甘諸生産組合」の2組織が活動しています。JAごとう契約甘諸部会は、令和7年産で生産者25戸、作付面積 20.8haまで取組が拡大しました。

併せて、(株)福岡ソノリクが事業主体、JA ごとう等が連携者として、かんしょがメインとなる「五島イノベーションセンター」の建設に向けた取組も進められています。



【ほめられかぼちゃ】

JAごとうでは、令和2年度から青果専門商社と春かぼちゃの契約栽培出荷に取り組んでいます。鉄コンテナ出荷のため、風乾や玉磨き・箱詰め作業も不要で、出荷されたかぼちゃのうち、糖度や水分含有量の基準を満たしたかぼちゃは、「ほめられかぼちゃ」のブランド名で販売されています。JAごとうほめられかぼちゃ部会は、令和7年産で生産者27戸、作付面積 11.8haまで取組が拡大し、ブランド率は契約産地で全国2位、部会歴代1位の84%でした。



儲かる農業実現のため、一緒に新産地づくりに取り組みませんか？

暑さに負けない美味しいお米を！ ～品種転換による高温対策と病害対策～

お問合せ先

農業振興普及課
0959-72-5115

気候変動による高温障害が、水稻の収量・品質低下の課題となっています。県ではこれに対応するため、高温耐性品種への転換を推進しており、五島地域での作付面積は前年比で約 26% 増加しました。五島地域で特に推進しているのが、食味、収量性、高温耐性に優れる「なつほのか」です。興味のある方は、五島振興局までお問い合わせください。

一方、今年度の水稻では紋枯病が多発しました。この病害は地球温暖化に伴い今後発生拡大が見込まれ、収量・品質を低下させます。紋枯病菌は圃場で越冬し、翌年株元に付着感染するため、発生圃場では稲わらの持ち出しを徹底してください。加えて、来年度の発生を防ぐには、耕種的防除（伝染源となる畦畔雑草や浮遊物の除去）と薬剤防除（慣行防除＋育苗箱処理剤による予防防除）を組み合わせた対策を実施することが有効です。

